

BCAO News



第28号

特定非営利活動法人 事業継続推進機構

2018年度BCAO活動紹介 ～活動の幅が広がる～

- P.1 仙台地域勉強会の活動
- P.2 静岡地域勉強会の活動
- P.4 名古屋地域勉強会の活動
- P.5 関西地域勉強会の活動
- P.7 和歌山地域勉強会の活動
- P.8 岡山地域勉強会の活動
- P.10 徳島地域勉強会の活動
- P.11 直近のセミナー・イベントについて

特定非営利活動法人 事業継続推進機構（BCAO）は、事業継続計画（BCP）の普及啓発と専門人材の育成を目的に2006年に設立され、今年で13年目となります。当機構では、事業継続（BC）に関する資格制度や表彰制度、テキスト作成、情報発信、行政からの受託事業受託などとともに、活動の重要な柱として、BCの情報・意見交換を行い基本事項について会員が研究する場である「研究会」を設置し、さらに、東京以外の地域に在住・在勤の会員が地域ごとに集まりBCについて情報・意見交換し学ぶ場として「地域勉強会」を開催しています。

本号では、このうちの各地の「地域勉強会」について、2018年度の活動の様子をご紹介します。今回は、北から南の順で各勉強会の座長等が説明していただきます。

「仙台地域勉強会の活動」 座長：丸谷 浩明

仙台地域勉強会は、仙台の東北大学を主な会場として、2017年1月6日から活動を開始しました。毎月、BCに関する学習と情報・意見の交換を様々なテーマで行っています。この3月で25回目の開催となりました。

仙台勉強会の開催に至った背景として、東北大学災害科学国際研究所の丸谷研究室が主宰する「企業・組織のBCP/防災勉強会(@仙台)」が2014年5月からほぼ毎月継続的に開催されており、そのメンバーの中でBCAOの会員が10名以上となったことから、BCAOの地域版協会の活動も開始しました。例えば、BCAOアワードの受賞組織の取組の発表をビデオで視聴して学ぶことができるようになったのは、BCAOの勉強会として活動が始まってからとなります。

2019年3月現在の当勉強会におけるBCAO会員数は20名です。そのうち、毎回十数名の方が実際に参加しています。また、メンバーのうち数名の方は仙台在住ではなく、ご都合のつく場合に遠路ご参加頂いています。その理由としては、参加メンバーの間で活発な情報交換と議論が行われていることはもちろん、BCAOの勉強会を原則、毎月第1金曜日に開催し、その前後に前述の「企業・

組織のBCP/防災勉強会(@仙台)」を開催してきていることから、提供され、議論される情報が多様なこともあるかもしれません。

後半の研究室主宰の勉強会では、大学の場での研究会という特徴を活かして、研究所の教員をはじめとした大学教員の方の研究の紹介や質疑応答も多く行われています。そのうちの一部は、BCAO会員の方からのご要望に沿って教員に講演をお願いしたものです。また、中国からの客員研究員も1年間参加され、国際的視点の議論も行いうことができました。なお、その方にはBCAO仙台勉強会の事務局運営も手伝っていただきました。



写真-1 仙台勉強会の様子（全体像）

BCAO News

【2018年度の活動状況】

2018年度の仙台勉強会の会合のテーマは、以下の通りです。

日程	テーマ
2018年 4月6日	徳島県のBCP普及活動からの学び
5月11日	原子力災害と事業継続について
6月1日	BCAOアワード2017受賞者発表の 動画視聴
7月6日	BCAOアワード2017受賞者発表の 動画視聴
8月3日	BCAOにおける最近のテキスト改訂 とBCの考え方
9月7日	残念なBCPとこれからの事業継 続、BCPと地域経済復旧・復興計画 を統合する市町村地域継続計画 (MCP) の提案
10月5日	医療機関、福祉施設のBCP
11月2日	BCAO『実効的なBCP策定のため のワークショップ（仙台会場）』の テキストの紹介と解説
12月7日	東急ファシリティサービスBCMの 取り組みについて
2019年 1月11日	東日本大震災の水産加工業における 復旧支援制度および沿岸地域の復興 まちづくりと復旧との関連、インド ネシアの津波災害に関する情報提供
2月1日	中小企業に導入を推奨すべきBCP の要素について
3月1日	2019年度のBCAO勉強会の進め 方」、日本海溝沿いの地震活動の長 期評価について

BCAOアワードの受賞者の発表のビデオの視聴では、対象組織の属性や事業内容、被災した状況などの背景も別途ネットの情報などから情報共有をして、質疑応答や議論をしています。東京の講演会などに出られないメンバーがBCの進んだ取り組みを学ぶためには有効な機会となっていると思います。

また、勉強会のメンバーの提案や要望により議題を選ぶことも多くなってきました。原子力災害や医療・福祉施設に関する話題などがその例です。大学の医療関係のメンバーから専門的な説明を頂くことも多くありました。また、メンバーに損害保険に関する方が多いことから、

保険をはじめとして、財務対策の実務的な知見を深める機会ともなっています。



写真-2 発表者の寅屋敷氏と丸谷座長（右端）

今後は、参加企業の取組みの発表も行っていくながら、勉強会を続けたいと考えています。

なお、勉強会開始以来、事務局の役割を担ってくれていた東北大学災害科学国際研究所の寅屋敷助教が関西に転勤となりました。仙台勉強会としては痛手ですが、関西の勉強会に参加する予定とのことですので、関西勉強会の皆様によりしくお願い申し上げますとともに、今後は、関西勉強会をはじめ、他の勉強会との連携も考えていきたいと思っています。

BCAOの会員の皆様、よろしければ東北出張の際には日程に毎月第一金曜日を入れていただき、取組やご知見の発表を仙台でもしてください。飛び入り参加も歓迎いたします。大震災の復興の話もできますので、お待ちしております。

「静岡地域勉強会の活動」

座長：高橋 孝一

静岡地域勉強会は、2008年度に初回会合から基本は毎月、11年間継続して勉強会を開催してきました。座長は初代の細坪理事から四代目になる小職が2015年度から引き受けています。

勉強会メンバーは、測量や介護施設等の中小企業の社長、BCやコンプライアンス等のコンサルタント、大企業の管理職、定年退職され地域防災活動をされている方など18名です。

当勉強会の特徴として弁護士が2名参加され

BCAO News

ています。特に、災害時の賠償問題に関与されている弁護士は熊本地震や西日本の豪雨や地震時にも対応されました。

【2018年度の活動状況】

2018年度の活動概要履歴を示します。静岡地域勉強会では、8月を除く毎月第3水曜日に月勉強会を開催しています。時間は17時半から19時半の2時間で、講師による発表とその後の質疑応答が主体です。ワークショップ形式の時もあります。開催場所は静岡駅から徒歩数分の公共施設静岡県男女共同参画センター「あざれあ」の会議室です。

20時からは場所を静岡駅ビル内の居酒屋「海ぼうず」に移し、静岡名物の「静岡おでん」(写真①)、黒はんぺんと牛すじが静岡おでんには必須と焼酎を静岡緑茶で割る「静岡割り」で情報交換会を行います。



写真-1 情報交換会時の静岡おでん

2018年度 勉強会のテーマと概要

月	テーマ	備考
4	「東日本大震災における河川津波の教訓と静岡市清水区巴川の津波想定」・・・真鍋さま 「中小企業庁の動き 中小企業BCP策定支援事業とBCP策定支援ガイドブック」・・・座長高橋	8名参加
5	「事前対策の費用対投資コストが議論の対象になるのか?」・・・加藤さま 「有限会社 池ちゃん家・ドリームケア、かけがえのない命をお預かりする介護事業のBCP」・・・池谷さま	10名参加
6	□赤堀さま御紹介の元全農職員齋藤吉則氏 □東日本大震災から「南海トラフ巨大	10名参加

	地震」への備えとBCPを考える	
7	「サイバーセキュリティとBCP」 ・・・堀越副理事長	8名参加
9	「東日本大震災津波訴訟から考える企業の災害対応」～常磐自動車学校と東保育所の訴訟について～・・・増本さま 「新しい視点による中小企業のBCP～災害リスクと経営リスクから捉えるBCPの考え方～」・・・石井さま	14名参加
10	避難所運営ゲーム (HUG) 作成者の倉野氏による「社会福祉施設バージョン」体験会 ・・・介護施設で働かれている介護士10名も参加され、次々と付与される事態に対して瞬時に判断し対応していく能力を養成するゲーム、事業継続力そのものであった。	19名参加
11	□金曜日現地夜17時集合 (19時から懇親会)、宿泊、翌日9時から12時 (勉強会) *静岡駅送迎あり。 □静岡市内久能海岸 大江戸温泉物語グループ 天下泰平の湯すんぷ夢ひろば □『組織の危機対応と事業継続』～組織を揺るがす危機対応を体験した担当者からの報告～① 駿河精機 (現ミスミグループ) 海洋調査船へりおす遭難事故・・・八木宏人さま □JA静岡経済連精米偽装事件・・・赤堀三代治さま □「北陸代替輸送訓練について 港湾関連のBCP」・・・川村監事	12名参加
12	BCPとBCM SMK者の取り組みについて・・・宇佐美理事長	9名参加
1	アンコールワット遺跡修復測量報告 ・・・大鐘さま	10名参加
2	名古屋と関西との合同勉強会	7名参加
3	□宮角さま 静岡県のBCPの簡易版 (入門編) について	12名参加



写真-2 3月の勉強会資料

【合宿研修】

月例会では3～4時間の話し合いだけのため、懇親を深めるために一泊二日研修会を2017年度から開始しました。

2017年は静岡駅から車で1時間程の山の宿「くさぎ里」で合宿研修を行い、2018年は静岡市内久能海岸 大江戸温泉物語グループ | 天下泰平の湯すんぷ夢ひろばに温泉合宿を開催しました。

勉強会テーマは下記の3つで、①『組織の危機対応と事業継続』～組織を揺るがす危機対応を体験した担当者からの報告～駿河精機（現ミスミグループ）海洋調査船へりおす遭難事故、②「J A 静岡経済連精米偽装事件」③「北陸代替輸送訓練について港湾関連のBCP」、実践に役立つBCPとは何かについて、全員で考えました。



写真-3 11月合宿時の勉強会風景



写真-4 11月合宿時の集合写真

【終わりに】

この3年以内で5名のメンバーが新規に入られました。今後も本部や、他の地域勉強会、研究会とも連携をしながら、全員参画型(講師を一回は担当)の静岡地域勉強会を開催していく所存です。

「名古屋地域勉強会の活動」

座長：西川 智

名古屋地域勉強会は、2010年6月に渡辺研司さんを座長として発足、およそ隔月に情報共有会、勉強会、施設等の見学会を実施、2016年後半から座長多忙のため開催頻度が低下し2018年から休眠状態でした。2018年末に西川智が座長を引き継ぎ活動再開、2019年1月8日に再開勉強会第1回、2019年2月16日には、関西地域勉強会及び静岡地域勉強会との合同勉強会を名古屋大学減災連携研究センターにて開催いたしました。この最近2回の勉強会の概要は下記のとおりです。

2018年度勉強会の概要

日時	人数	内容
2019年1月8日	16名	再開勉強会第1回 渡辺前座長より挨拶、出席者自己紹介 藤村関西勉強会座長より御挨拶 西川座長より話題提供「南海トラフ地震及び南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応のあり方について(報告)」。再開名古屋勉強会の進め方について意見交換を行いました。 終了後、別会場で懇親会。

BCAO News

<p>2019年 2月 16日</p>	<p>名古屋 11名 + 関西 9名 + 静岡 7名</p>	<p>再開勉強会第2回及び関西・静岡との合同勉強会 名古屋大学減災館を見学 地下免震層を見学 名古屋大学平山准教授から講演「災害廃棄物対策を知る」を聴講 出席者自己紹介 H30年の災害から得られた知見について各勉強会から紹介 関西勉強会藤村雅彦様より ・大阪府北部地震、 ・エレベーターの地震対策と事業継続に向けた課題 ・平成30年台風21号 名古屋勉強会藤本博久様より ・豊田通商における経験 名古屋勉強会古村太郎様より ・森松工業における西日本豪雨対応事例 静岡勉強会加藤恒雄様より ・大阪北部地震の大学施設の被害とその後の設備耐震 静岡勉強会座長の高橋孝一様より ・中小企業強靱化研究会の取りまとめ案と認定制度等についてと豊富な話題提供がありました。 終了後、別会場で3勉強会合同の懇親会を開催し、大いに盛り上がりました。</p>
-----------------------------	--	--



写真-2 同勉強会：減災館の見学



写真-3 同勉強会：大阪北部地震について講演



写真-1 2月16日合同勉強会：災害廃棄物の講演



写真-4 2月16日合同懇親会：大いに盛り上がる

「関西地域勉強会の活動」

座長：藤村 雅彦

関西地域勉強会は、2006年9月の初回会合から136回（2019年2月時点）の勉強会を開催してきました。近年の活動概要履歴を示します。

勉強会の活動概要履歴

年度	内容
2017年度	藤村座長のもと参加メンバー講師による勉強会（熊本研修報告会、IT-BCP策定方法、クロスロードゲーム、関西地域勉強会メンバーお悩み相談会、自然災害リスク（富士山噴火）、アベノハルカスの紹介等）開催。活動の活性化を図るとともに、ITBO研究会や静岡地域勉強会と交流を深める。
2018年度	大阪開催の本部セミナー（月例会、普及啓発セミナー）及び参加メンバー講師による勉強会（BCAO本部役員によるセミナー、想定外リスクへの対応、ビルメンテナンス業界のBCP取り組み状況について、西日本にける自然災害（地震/風水害）と事業継続、安否確認業務と次のニーズについて等）開催。今夏、関西を襲った自然災害について各社の対応事例を共有。2月に名古屋現地視察実施（10名参加）。

※2016年以前の活動はNewsletter 2016.06をご参照下さい。



BCAO関西地域勉強会
2017年4月例会
「熊本視察」研修会 報告

地元企業視察及び熊本大学との意見交換会

— 熊本地震について考える —




2017年2月10日～12日

写真-1 熊本視察研修 報告会(2017年)

2016年以前は、勉強会での自己研鑽の他、地域への普及貢献が活動、関西地域勉強会以外の組織、講師からの情報収集を積極的に実施し、情報提供のみに終わらず、全員参加型の意見交換を実施しています。2017年、2018年もこれまでの活動を継続し、地域勉強会活動の活性化を図りました。特に、2018年度は大阪府北部地震や西日豪雨災害等、タイムリーに各メンバーの災害対応状況を共有し、各所属組織のBCP作成・見直しに生かされています。また、2012年より継続しているワーキンググループ（WG）活動として、研究会には昇格していませんが、BCバックグラウンド-WG（BCBG-WG）の活動も継続して行っています。

今後も、円滑な勉強会運営のため、支部運営委員会を通じて、会員のニーズに沿った活動・勉強会等の企画・運営を行い、参加者メンバーの満足度向上を図ってまいります。

【2018年度の活動状況】

関西地域勉強会では、第3水曜日に月例会（支部会・勉強会）を開催しています。支部会は、運営会議、支部運営委員会の報告とその他情報発信の場としています。勉強会は、90分議論しています。

表の2018年度勉強会テーマをご参照下さい。講師からの情報提供だけでなく、全員参加型の意見交換を実施し、講師の一方的な情報発信とならないよう、テーマ選定を心掛けています。業種を固定せず異業種のBCPを学ぶことで、業種観点での想定外の意見もあり大変盛り上がります。月例会終了後の懇親会にて参加者間で更なる議論を深めることもできます。BCでお悩みがあれば、個別相談も可能です。

2018年度 勉強会テーマ

テーマ	概要
月例意見交換会&オープン勉強会（本部行事）	「レジリエンス・国土強靱化の取り組み事例」、「残念なBCPの認識と改善策を検討する」

BCAO News

想定外リスクへの対応についての提案	製造業を営む中小企業を念頭に、各種ハザードや想定外の危機状況に対応するためのアイデアを提案
事業継続(BC)推進セミナー（本部行事）	「残念な事業継続(BC)の取組みとこれからの事業継続(BC)」、「経営が実践する経営視点の事業継続(BC)の取組み」、「事業継続推進機構が提供するこれからの事業継続(BC)に対するメニュー」
ビルメンテナンス(BM)業界のBCP取組み状況について	全国BM協会、大阪BM協会の取組みを事例紹介
BCAOアワード2017受賞企業の取組み紹介（本部行事）	BCAOアワード2017 受賞企業の取組み紹介 1. イッツ・コミュニケーションズ株式会社 2. まいにち株式会社
西日本にける自然災害（地震/風水害）と事業継続	2018年夏、西日本で発生した地震、風水害について、新聞等の公開情報を共有し、各メンバーが組織の立場で体験した事例紹介、意見交換
BCBG-WG活動報告	BCに関する様々な課題について自由討議する
オープン勉強会（本部行事）	BC普及の課題とこれから必要な取組み
事業継続に求められる安否確認業務と次のニーズについて	100社以上の安否確認システム導入コンサルの経験から事例をもとに事業継続に求められる安否確認業務の実際とその次のニーズについて解説
名古屋視察研修報告会	2/16に行われました、名古屋視察研修会の報告会を実施。施設見学の概要と名古屋/静岡地域勉強会との意見交換会の内容について報告
本部役員による情報提供と意見交換会	本部役員（細坪理事）による情報提供と意見交換を実施



写真-2 名古屋/静岡地域勉強会との意見交換会
(2018年)

【BCBG-WGの活動】

BCBG-WG (BCバックグラウンド・ワーキンググループ)とは、BCをよりあらゆる観点から掘り下げて議論を深めていこうとするグループで、前身のBIAワーキンググループを含めると7年前後の歴史をもつWGになりました。現在10名（男子7名・女子3名）で定期的にBCAO関西事務所を使って例会を開催しています。

本WGは、毎月開催される地域勉強会だけでは消化不良になった課題も、あらためてテーマとして取り上げ、実践に役立つBCPとは何かについて、メンバー全員で考えてきました。

一見、討議内容の難しいグループのように思われますが、年齢、業種等関係なく、個々人の意見をまずは受け入れたうえで、様々な意見を出し合い、議論を深めています。



写真-3 BCBG-WGメンバー(2018年)

【終わりに】

今後も本部や他の地域勉強会・研究会とも連携を深め、関西地域勉強会のメンバー満足度向上と、新規メンバーが参加したいと思っただけの魅

BCAO News

力的な活動を実現できるよう運営計画を立案していきたいと思います。会員皆様の積極的な参加をお待ちしています。

「和歌山地域勉強会の活動」

座長：伊藤 毅、副座長：黒川 久生

和歌山地域勉強会は、2018年11月6日に第1回（キックオフ）勉強会を開催し、全国で7番目の地域勉強会として発足したばかりの地域勉強会です。発足して日が浅いため、第1回勉強会と第2回勉強会の活動概要を示します。

活動概要

日程	人数	概要
第1回 2018 11月 6日	11名	1. 設立宣言 2. 座長卓話 ～設立の趣旨、BCPを取り巻く最新動向や課題について～ 3. 会員紹介 4. 今後の運営方針等、意見交換
第2回 2019 1月 25日	11名	1. Case Study 「剂盛堂薬品株式会社」 専務取締役 露峰 正行 氏 2. 課題解決の検討 3. その他 意見交換

【2018年度の活動状況】

和歌山地域勉強会では、第1回勉強会において、隔月に勉強会を開催（年間6回開催）することを決定し、これまで計2回の勉強会を開催しました。勉強会の内容は下記の通りです。

<第1回勉強会>

1. 設立宣言

全国で7番目の地域勉強会として発足。目的は、BCP・BCMに関する情報共有や課題に対する研究等を行い、BCPの実効性向上に資すること。

2. 座長卓話

座長のあいさつ、卓話。最近のBCPを取り巻く情勢の中で、先進的な取り組みを多く実施している和歌山の企業間でさらに情報共有や課題研究を行い、その成果を全国に発信することでBCPの実効性向上と活用に関する理解を深める

一助とする。

3. 会員紹介

各会員企業での取り組みと課題について発表。

4. 今後の運営方針、意見交換

今後の運営の方向性は下記の通りで合意。

■Case Study

各社の取り組みの紹介と評価分析の実施
→和歌山県の取り組みをノウハウ集に集約

■課題解決の場の提供

課題管理表を事前に提出し、その場で議論

■実効性のある訓練モデルの検討

訓練方法→課題抽出→課題解決のプロセス

■研究会の開催頻度としては2か月に1度開催



写真-1 第1回和歌山地域勉強会

<第2回勉強会>

1. Case Study

剂盛堂薬品株式会社 専務取締役 露峰正行氏による自社のBCMの取り組みについて事例報告

2. 課題解決の検討

事例報告を受けての質疑応答、意見交換。

社内でのBCM訓練やお互い様戦略の相手企業選定について、各社の状況および取り組み手法を意見交換。

【終わりに】

今後は和歌山の企業間でさらに情報共有や課題研究を行い、その成果を全国に発信できるよう集約を行うとともに、本部や他の地域勉強会、研究会とも連携を深め、新規メンバーに加わりたいと思っただけの魅力的な活動を実現できる勉強会にしていきたいと思ひます。会員皆様の積極的な参加をお待ちしています。

BCAO News

「岡山地域勉強会の活動」

座長：細坪 信二

岡山地域勉強会は、2014年7月の初回会合から勉強会を開催してきました。近年の活動概要履歴を示します。

勉強会の活動概要履歴

年度	人数	内容
2017	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・レジリエンスについて ・レジリエンス認証企業の取り組みについて ・熊本視察意見交換会について ・カンボジアお互い様連携視察報告 ・ワークショップ「もしも、北朝鮮からミサイルが発射、着弾したら」 ・最新の動向
2018	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道胆振東部地震について ・ワークショップ「ブラックアウトを考える」 ・次世代ビジネス継続(BC) ・お互い様BC サポーター制度構想 ・ワークショップ「現状の事業継続の取り組みをいかに次世代ビジネス継続(BC)に持っていくか」 ・これからの事業継続(BC)の取組み～事業環境変化への適応力～ ・ワークショップ「事業環境変化へ立ち向かう」

岡山地域勉強会のメンバー構成として特徴的な点は、中小企業の経営者が多く参加していることです。その為、経営の視点での事業継続に関するテーマについて勉強会を実施しています。近隣の徳島地域勉強会からの参加もあり、今後、他の地域勉強会とも連携を図り、活動の輪を広げてまいります。

【2018年度の活動状況】



写真-1 ワークショップ (2018年)

2018年度の岡山地域勉強会は、下記に示すように3回開催しました。各回前半は、その時々の特ピックをテーマに情報提供をし、後半は、全員参加によるワークショップを実施し、熱い議論をしています。

<2018年度 第1回 岡山地域勉強会>

日時：10月17日（水曜日）15：00～17：30

会場：第一セントラルビル1号館5FB会議室

内容：講義「北海道胆振東部地震について」



北海道胆振東部地震による札幌市、安平町、厚真町、むかわ町の各地の被害状況や企業の事業継続の取り組み事例について情報提供がありました。

ワークショップ：「ブラックアウトを考える」

ワークショップ

関西でブラックアウトに見舞われたら？
自社被害はなし
自社の管内のみ停電
5か月間止まり続けるとどんな影響が出るのか？
5か月後ビジネスは元通りになるのか？

© 2018 hosotufg

北海道で起きた全道ブラックアウトが、岡山地域全域で発生し長期間続いたら、というテーマで、どのような対応をすればよいか整理するとともに、どのようなことをすれば「神対応」と周囲から評価されるのか議論しました。

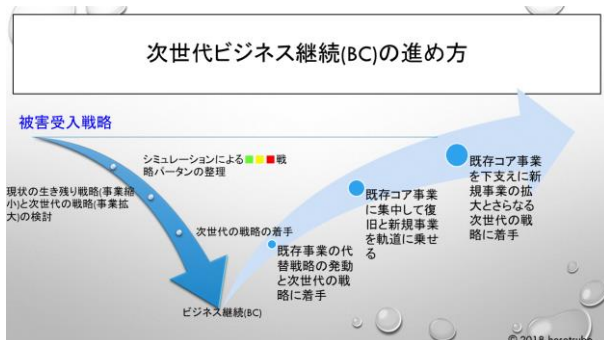
BCAO News

<2018年度 第2回 岡山地域勉強会>

日時：12月5日（水曜日）15：00～18：00

会場：後楽ホテル 2F 『つるべ』

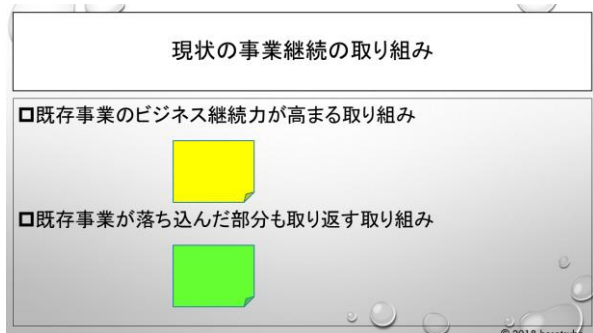
内容：講義「次世代ビジネス継続(BC)」



「お互い様BC サポーター制度構想」

従来の既存事業の被害軽減対策を中心とした事業継続の進め方から、甚大な被害に見舞われた際には被害を受け入れ、既存事業から新規事業に乗り換えていく「ビジネス脱皮」について情報提供がありました。

ワークショップ「現状の事業継続の取り組みをいかに次世代ビジネス継続(BC)に持っていくか」



既存事業のビジネス継続力を向上するための取り組みを検討するとともに、損失部分をいかに取り返すのか、どのようにバランスシートを合わすのか議論しました。

<2018年度 第3回 岡山地域勉強会>

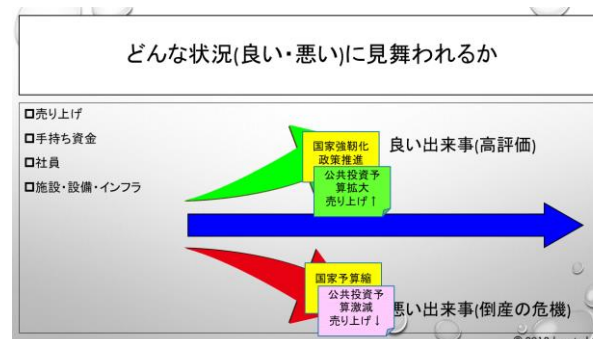
日時：3月22日（金曜日）14：30～17：00

会場：岡山国際交流センター地下1階レセプションホール

内容：講義「これからの事業継続(BC)の取り組み～事業環境変化への適応力～」

どのような事象や被害が起こるのかという

視点ではなく、受注減や売上の停滞・減少という事業環境の変化に見舞われても、社員が一致団結し、いかに成長していくのかという情報提供がありました。



ワークショップ「事業環境変化へ立ち向かう」将来、社会や業界がどのように変化していくのかについて、起こりそうな出来事や状況を洗い出し、自社にどのような良い点、悪い点が起こり得るのか整理し、今後の事業継続に必要なことについて議論しました。

【熱い熱い意見交換の活動】

毎回恒例のアフター勉強会では、講義の感想、ワークショップで話し足りなかったことについて、熱い議論を行っています。



写真-2 熱い熱いアフター勉強会（2017）

BCAO News

【終わりに】

今後も、経営者が参加したいと思っていただけるような魅力的な活動を推進していきたいと思えます。岡山地域に限らず、ご興味のある会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

「徳島地域勉強会の活動」

座長：湯浅 恭史

【徳島地域勉強会発足の経緯】

徳島地域勉強会は、2016年10月に発足した5番目の地域勉強会で、四国では唯一の地域勉強会となります。

発足した経緯として、もともと徳島県では県の施策にもBCAOと連携したBCP普及の取り組みがなされてきたこともあり、BCAOの活動を理解する企業等が多く存在していました。このような企業等がBCに関する取り組みを進め、その成果によってBCAOアワードを受賞することとなり、BCAOの活動にさらなる理解と共感をする企業が増えていきました。

またBCAOアワードなどを通じて、関西や岡山など他の地域勉強会メンバーとの交流も活発になっていくに従い「より本格的なBCを学ぶ場が徳島にもほしい」という声がBCAOアワード受賞企業を中心に挙がるようになり、徳島地域勉強会を発足させることとなりました。

BCAOアワードなどのBCAOの取り組みから発足の機運が高まったことが、徳島地域勉強会の特徴であると言えます。

【メンバー構成・特徴】

徳島地域勉強会では、先述のBCAOアワード受賞企業を中心に、中小企業支援機関やコンサルタント、大学など14名のメンバーで構成されています。特に、「なでしこBC連携」に所属する建設業者の方々が多く参加しており、これらの企業では社員教育や人材育成の一環としても地域勉強会の活動を活用いただいています。

【これまでの取り組み】

徳島地域勉強会ではBCAO事務局の支援も受けながら、年3～4回のペースで活動しています。その時の時流やメンバーからの要望があっ

たテーマを設定し、最新のBCの動向を勉強するとともに、積極的に意見交換を行っています。

また、徳島大学環境防災研究センターが実施している「徳島県BCP研究部会」とも連携しながら取り組みを推進することにより、定期的にBCについて勉強や議論をすることができる「場」づくりができていていると感じています。

表-1 徳島地域勉強会の取り組み

No	テーマ・内容
1	勉強会発足会議 ・自己紹介 ・活動内容の検討
2	D-PACプロジェクトin徳島 ・災害対応演習 ・実効性のある連携体制構築の検討
3	ICSとBC連携体制 中小企業がとりくむべきこれからのBC
4	熊本地震ビジネス継続事例 事例発表（なでしこBC連携）
5	レジリエンス認証制度 これからの事業継続の取り組み
6	残念なBCPとこれからの事業継続 事業継続検討演習
7	中小企業BCP導入ガイド 熊本地震の企業被害と事業継続
8	中小企業BCP支援ガイドブック 今後の中小企業に必要なBC
9	自社に必要な訓練とは 訓練評価ワークショップ



写真-1 徳島地域勉強会メンバーによる事例発表

BCAO News

【今後の取り組み】

今後は他の地域勉強会とも連携・交流しながら、実践的なBCの実現を目指し、徳島という地方から新たな取り組みを発信していけるよう、切磋琢磨しながら活動していきたいと考えています。

他の地域からのご参加も大歓迎です。みなさまのご参加をお待ちしております。

「直近のセミナー・イベントについて」

事務局より

BCの取り組みを普及・啓発する事業、及びBCを推進している個人や企業、その他の団体を表彰する事業の一環として以下のセミナーを開催します。奮ってご参加ください。

① 事業継続取り組み事例&災害対応事例セミナー

- ◆日時: 2019年6月3日(月)
13時40分～16時40分
- ◆場所: 東京ウィメンズプラザ 地下1階ホール 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67
- ◆申込 URL: <http://www.bcao.org/seminar/67.html>

② BCAO アワード 2018 表彰式 & 懇親会

【表彰式】

- ◆日時: 2019年6月3日(月)
16時50分～17時45分
- ◆場所: 東京ウィメンズプラザ 地下1階ホール 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67
- ◆申込URL: <http://www.bcao.org/seminar/66.html>

【懇親会】

- ◆日時: 2019年6月3日(月)
18時15分～19時30分
- ◆場所: アイビーホール青学会館 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
- ◆申込URL: <http://www.bcao.org/seminar/66.html>

BCAOニュースレター 第28号
発行日: 2019年5月21日
発行: 特定非営利活動法人事業継続推進機構
<http://www.bcao.org/>